

消費が低迷し生産や輸出が激減する中、雇用情勢が急速に悪化している。また国、地方あわせた長期債務残高は、21年度末には804兆円以上に膨れ上がる見込みであり、財政規律維持上、改革を維持するものの税収の落ち込みなどは激しく、新規国債発行額は40兆円を超えるものとなる。このような厳しい情勢下での21年度予算策定、提案となった。市長は、総合振興計画を推進する経営体として安定した財政構造への変革と市の将来像(森・里・街がきらめくふるさと・南丹市)の実現のための予算とした。

これを受け、議員全員による(議長を除く)予算特別委員会を立ち上げ各常任委員会を分科会として、審議をした。今日の厳しい経済事情は南丹市も例外ではない、この地域経済事情と合併4年目を迎える節目に、より一層の一体感の醸成、合併効果、対応可能な市民サービスが提供できる施策の推進、持続可能な財政運営、次世代を担う子育て支援策の取り組みなどを基本審査姿勢とした。委員会に付議された議案第54号から第63号までの一般会計をはじめ8つの特別会計予算および1企業会計の審査と経過概要は、のべ6日間の各分科会の審議の結果、第54号、第55号、第62号は賛成多数。議案第56号から第61号まで、および第63号は賛成全員による原案可決すべきものとした。審査過程で指摘された意見や要望については充分精査をし、予算執行に当たっては1円たりとも血税としてのコンプライアンス(法令順守)と市民へのデスクローズ(情報公開)を徹底することを望むものである。また常に市長の各予算に対する経営理念を明確に市民に伝えることが必要と考える。

平成21年度末で基金残高は17億2千万円の見込みで、合併前の28%に激減している。基金すなわち市の貯金が「この2年で枯渇する」事態に至っている。予算編成で「行政経営」といった視点を強調しているが自主財源確保の積極性が全くない。八木中野谷川の河川占用料や奥るり溪の土地の貸付料など予算計上し、請求しなければならぬものである。工場誘致事業奨励の期間延長と奨励金の率を減らすことによる市の実質収入増を確保することができ。歳出面においては、昨年度に続き住民サービス後退を大幅に進めた予算である。また、「中小企業退職共済事業助成金制度」

が廃止とされているが、百年に一度といわれる景気悪化が進行しているこの時期に、廃止するなど言語道断である。「職員を減らす」方針だとして、美山の全地域振興会から常駐市職員を削減させる内容を含んでいる。「周辺、農山村地域を寂れさせない」が合併時の「公約」であった。合併時に「誇り」としていた施策を軒並み縮小・廃止しようとする予算である。

の運営など、生み育てる子育て弱者支援の福祉施策、また、農林業では、国、府の負担金対応が主であるが鳥獣被害、法人化など従事意欲の高揚の為の予算、教育、消防、防災、道路など子供や住民の安心安全につながる予算である。また、企業誘致奨励金の継続により、将来の税収確保はもとより、就労確保など波及効果が大きい。そして、市長直轄の総合政策室を置き、厳しい経済状況に対応し、活力と元気なまちを推進し「人がひとを呼ぶるまち」実現につながる。と評価し賛成とする。

後期高齢者医療制度は、高齢者に医療差別を持ち込み、負担を押し付けた。保険料が重い負担になり保険料が払えない住民もいる。保険料の滞納者への制裁措置として、機械的な資格証明書の発行は許されない。高齢者が必要な医療を受けられなくなるような問題の多い制度のもとでの予算に反対する。

八木 眞 委員長

平成21年度 一般会計予算 討論(要旨)

反対討論

日本共産党、住民協働市会議員団 大西一三 議員

賛成討論

丹波クラブ 森 爲次 議員

「国民健康保険事業特別会計予算」及び「後期高齢者医療事業特別会計予算」討論(要旨)

反対討論

日本共産党、住民協働市会議員団 仲 絹枝 議員

平成21年度 8特別会計 1企業会計 予算成立

8特別会計 総額114億7,140万円

会計名	予算額	歳出の主なもの
●国民健康保険事業特別会計	36億90万円	保険給付費、後期高齢者支援金等
●老人保健事業特別会計	6,170万円	医療諸費等
●介護保険事業特別会計	29億1,070万円	居宅介護、施設介護サービス給付費等
●市営バス運行事業特別会計	4,910万円	バス運行事業費等
●簡易水道事業特別会計	7億2,500万円	施設維持管理経費、公債費等
●下水道事業特別会計	29億1,170万円	施設維持管理経費、公債費等
●土地取得事業特別会計	7億4,560万円	用地取得費等
●後期高齢者医療事業特別会計	4億6,670万円	広域連合負担金等

1企業会計

7億3,618万円

●上水道事業会計	7億3,618万円	配水設備改良費、企業債償還等
----------	-----------	----------------

予算特別委員会での 主な質疑(特別会計)

産業建設分科会

問 「地域水道ビジョン」を作成するための業務委託料は、988万円と高額だが、その内容は。

答 簡易水道、上水道それぞれに作成する。運営形態の最適化、情報公開、地震、濁水対策、水の循環関係等が主な内容である。

問 マンホールポンプ等管理委託料の契約期間を今回より、1年から3年契約に変更となったのはなぜか。

答 条例では5年契約でできることとなっている。今回初めてなので3年とした。料金については、有利に働くはずである。

厚生分科会

問 嘱託職員4名で国保税滞納の徴収にあたっては、他の税との関連は。

答 国保税の徴収を基本として行っている。特に滞納者からの申し出がある

総務分科会

問 市長の施政方針で山陰線複線化により、市が活気づくようバス体系を見直すところがあるが、予算上の考慮は。

答 交通弱者に対し、全てをバスでは対応できない。新たな交通システム研究経費を計上し、福祉部門と調整しながら検討する。

問 京都市から美山までの直行バスはあるのか。

答 京都市から周山まではJRバス、周山から美山までは南丹市営バス利用となる。



市営バス